

生物多様性意見交換会の結果

1 日時 平成25年10月18日（金） 午後1時30分～午後4時

2 場所 京都工業会館（京都市右京区西京極豆田町2）

3 プログラム

（1）講演等

「京都の生物多様性と民間参画」 京都学園大学教授 森本 幸裕

「持続可能な発展と企業の責任」 株式会社インターリスク総研 主任研究員 原口 真

「市民活動団体から活動報告」 そまびとこうぼう 杣人工房 京町家・森の灯台 代表 長谷川 綉二

（2）出席者の皆様等による意見交換

4 参加者 101名

5 参加者からの主な意見

- 子供たちや学生が自然にふれ、自然から学ぶ機会を多く与えてほしい。
- 京都の生物多様性の実態評価を行い、市民の危機感や実感に繋がるような情報の提供が必要である。
- 市民が参画できる施策（自然観察会等の普及啓発活動等）や行政による情報発信等の支援が必要である。
- 生物多様性保全とその利用を推進する人材づくりを進める仕組みづくり（ネットワークづくり）が必要である。
- 生物多様性と文化の関わりに焦点をあてた活動や観光資源である文化財をとりまく自然を守っていくような取組が必要である。
- 民間企業が生物多様性保全に意欲的に取り組めるようなメニューを作成してほしい。
- 自然環境の保全を進めるうえで、シカの食害等は大きな問題である。
- 京都市が生物多様性保全に取り組むにあたり、京都府など他の自治体とも可能な限り連携・協働すべきである。
- 生物多様性に関する庁内各局の連携による一体となった取組が必要である。